

# 飛躍

静岡県東部地域の活性化を考える

平成7年度の歩み



# 静岡県東部地域の 活性化を考える

## CONTENTS

### ごあいさつ

- 「サンフロント21懇話会」
  - 平成7年度の歩み..... 4
- 東部地域の将来ビジョン..... 6
- 伊豆地区分科会の基本戦略..... 8
  - 静岡県産業人材育成センター構想..... 10
  - 観光大学校構想..... 11
  - 観光情報センター構想..... 12
  - 温泉研究所構想..... 13
- 沼津・三島・駿東地区分科会の基本戦略... 14
  - 行政センター構想..... 16
  - 県がんセンターと周辺開発構想... 18
  - 国立人類学博物館構想..... 19
- 岳南地区分科会の基本戦略..... 20
  - 自然系博物館構想..... 22
  - アジアのこどもの国構想..... 23
  - ハイウェイオアシス構想..... 24
  - 匠の村構想..... 25
- 実現に向けての行動計画..... 26
- ラジオEAST..... 28
- サンフロント21懇話会名簿..... 30

## ごあいさつ



静岡新聞社長

大石 益光

この懇話会は、当社の東部報道拠点であります総局ビル「サンフロント」の開設を機に、平成7年6月12日に初の試みとして産業、医療、法曹等各界、さらには市町村をはじめ、国・県関係機関など、この圏域でご活躍のトップの方々一堂に会していただき「リーダーの視点」から東部全体の調和ある発展について自由かつ大胆に議論し、また交流していただく場となることを願って設けたものであります。

県東部は、伊豆、駿東、岳麓、岳南の各ブロックが、商・工業、農・漁業から観光、スポーツ、レジャー等々それぞれ個性に富んだ多彩な顔を持ち、発展の可能性を秘めています。富士山を仰ぎ、駿河・相模の浦々が眼前に広がるロケーションは、磨き方如何で日本一、世界一の理想郷になることを確信してやみません。

幸い発足当初から多数の方々のご参加をいただき、ここに1年の活動を振り返り、数々のご意見、ご提言をもとに描いてきた「東部活性化ビジョン」としてお示しできますことは、またとない喜びであり、会員各位のご尽力にあらためて感謝を申し上げます。今後は、このビジョンの具体化に向けてより多くの皆さまのお知恵とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



SBS静岡放送社長

松井 純

当懇話会がホテル沼津キャッスルで産声をあげてから早くも1年の月日が経過しました。この間、会員も380人を超え、三つの分科会がそれぞれの地域にふさわしいテーマで熱心に討議され、構想をまとめられましたことは、県東部の将来像を考えるという当会設立の趣旨に照らしまして、まことに心強いものがございます。

このところ今まで体験したことのない大きな出来事が次々と起こり、報道に携わる者の一人として戸惑うことも少なくありません。これらを一括りに世紀末現象などと呼ぶ人もいますが、一方こうした事件をめぐるマスコミ、特にテレビ報道の在り方について今日ほど世間の関心と議論が高まりを見せ、その節度、責任といったものを問われたことは、かつてなかったように思います。

いつの時代にありましても、報道メディアは「社会の本質、教科書である」との自負を忘れてはならないと自省自戒を強くいたしています。

その意味におきましても、この懇話会で練り上げられたご提案をこれからどのようにして、より多数に理解を訴え、実行に移していったらよいか、なお微力を尽くしてまいる考えであります。

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。



サンフロント21懇話会代表幹事  
スルガ銀行頭取

岡野 光喜

静岡県東部は、まとまりに欠け、力を出し切っていないという批判が根強くあります。これは中・西部の一極集中型に対し、分散型の都市構造がマイナスに作用しているからだと考えられています。

また、この数年来国の内外を問わず様々な問題が噴き出し、これに天災地変が加わって既成のパラダイムを大きく揺るがしています。

激しく流動する社会と価値観にどう対応し行動するのか、今を生きるわれわれに課せられた責務は大きく重いものがあります。

このような時、静岡新聞社・SBS静岡放送が行政の枠を超え、県東部の活性化を標榜して「サンフロント21懇話会」を設立されたことは、ふるさとの振興を願う一人として感謝にたえません。

スタートして1年、全体会、分科会を通して交流と議論が深まるなかで、東部活性化のビジョンを探ってきました。夢は大きく理想は高く、新しい世紀に向かってそれぞれが個性と魅力を発揮しながら、力を合わせてビジョンの実現に取り組み「どんぐりの背くらべ、足の引っぱり合い」と言われた悪評を一掃しようではありませんか。

皆さまのさらなるご協力をお願い申し上げます。次第です。

# 「サンフロント21懇話会」平成7年度の歩み

静岡県知事  
石川 嘉延  
「道路・港湾の整備で  
交通革命を」



登山家  
今井 道子  
富士山は“心の友”  
「ありのままの姿を見てもらう」



東大名誉教授  
木村 尚三郎  
「21世紀は  
旅産業の時代」



静岡県立大学教授  
大坪 植  
「東部活性化は  
地域連合で」



船井総研会長  
船井 幸雄  
「これから10年  
楽しみの発見」



朝鮮日報社記者  
李 俊浩  
「伊豆は自然の  
テーマパーク」



立教大学教授  
安島 博幸  
「伊豆の“意識革命”」



県生活・文化部長  
門馬 博  
「21世紀の観光伊豆像」



◇7年4月6日  
設立発起人会(サンフロントビル)  
県東部の経済人20人が発起人として出席。発足と同時に20人は幹事に就任。代表幹事に岡野光喜スルガ銀行頭取、副代表幹事に君澤藤一ハックキミサワ社長、中野省吾大昭和製紙社長を選出した。

◇7年6月12日  
設立総会(ホテル沼津キャッスル)  
会員 365人でスタート。年間に全体会2回、地区会3回開催を決める。地区割は「岳南」「沼津・三島・駿東」「伊豆」。記念講演は木村尚三郎東大名誉教授。特別講演・石川嘉延県知事。

◇7年7月19日  
運営委員会発足(サンフロントビル)  
委員23人。オブザーバーとして4人の東部地区県行政センター所長。委員長に羽野久雄野水産社長が就任。会員は 376人に。

◇7年9月29日  
第1回伊豆地区分科会(ラフォーレ修善寺)  
「また見つけた伊豆の宝」を合言葉に新たな観光資源の発掘へ。観光情報センター設立を訴える宣言文を採択。基調講演・安島博幸立教大教授、特別講話・李俊浩朝鮮日報記者。

◇7年11月9日  
第2回全体会(ブケ東海)  
運営委員会が提案した①伊豆地区分科会の主張を受けて観光大学の県東部への誘致を県知事に申し入れる②活性化の実効性をより高めるため県東部28市町村長による連絡会議を設置する一を採択。記念講演は船井幸雄船井総合研究所会長と門馬博県生活・文化部長。

◇7年12月27日  
県知事に陳情(県庁)  
岡野光喜代表幹事、松井純SBS静岡放送社長らが石川知事を訪問し、伊豆地区分科会と第2回全体会で採択した観光大学、県産業人材育成センター、観光情報センターの県東部への誘致・設置を陳情。

◇8年1月17日  
県東部市町村長連絡会議発足  
(サンフロントビル)



懇話会活動を支援し、行政側の受け皿になる28市町村長連絡会議が初会合を開き、会長に石井茂三島市長、相談役に桜田光雄沼津市長、鈴木清見富士市長を選出するなど規約を決め、懇話会活動と連動して都市間協力を図りながら県東部の活性化の推進役としての機能を担うことを申し合わせた。

◇8年1月26日

第1回沼津・三島・駿東地区分科会

(みしまプラザホテル)

「都市間協力の在り方を探る」を統一テーマに基調講演、提案パネル討論を通し一極集中型の県中西部に比べ、都市分散型の県東部が目指す方向を示し、「地域連合」の必要性を訴えた。活性化の提案は①県がんセンター構想に絡めた地域振興策②富士山の麓に国立人類学博物館③JR沼津駅周辺地への行政センター構想一の3点。基調講演は大坪檀県立大学経営情報学部教授「演題・県東部活性化は地域連合で」

◇8年3月6日

第1回岳南地区分科会

(フジロイアルプラザホテル)

「富士山との共存」を統一テーマに、基調講演や富士山周辺6市町の会員と行政関係者らによるパネル討論を通して富士山周辺地域の活性化を探った。採択した意見は①県の自然系博物館を富士山ろくに誘致②富士山ろくにアジアの子供たちのメッカに③富士山ろくに匠の村整備一の3点。基調講演は女性登山家の今井通子さん「演題・富士山の魅力」

◇8年3月28日

運営委員全体会 (サンフロントビル)

8年度の活動方針を協議。第3回全体会を兼ねた8年度総会を5月17日(記念講演者・邱永漢氏)に開催することを確認したほか地区会の日程などを検討。7年度末の会員数は385人。

◇8年3月28日

市町村長連絡会議と東部県議団の合同会議 (サンフロントビル)

県東部選出県議の皆様が懇話会に対するご理解を深めていただくことを目的に開催。26県議のうち22人が出席した。運営委員同席。

(7年度の活動で提案・採択された事項)

◎伊豆地区

- 2000年の伊豆温泉博の核施設として観光大学校誘致
- 温泉研究所設置(レジャーからスポーツ医療にいたる温泉のすべてを網羅)
- 県産業人材育成センター建設
- 観光情報センター設立(第3セクター=全国に情報発信する基地)  
(例えば、本社・三島、支店・熱海、沼津、下田、修善寺、富士)

◎沼津・三島・駿東地区

- JR沼津駅に行政のまち(東部の核都市としての機能整備)
- 県のがんセンター構想に絡めた遺伝子研究と医薬品開発のメッカ構築(長泉を軸に三島、清水、沼津、裾野)

◎富士山ろく地区

- 山ろくにアジアの子供のメッカ(富士、富士宮、芝川を軸にビジネスから野外活動に至る子供のすべてを)
- 山ろくに国営公園に一の県の構想実現をアピールしていく
- 山ろくに自然系博物館誘致(県の構想)
- 山ろくに国立人類学博物館建設
- 匠の村建設=人材と研究開発型企業誘致(小山、御殿場、裾野を軸に)
- 山ろくに自然と人間の共存の場に(いずれの場合も富士山の保全と美化が大前提となる)  
(注)地域開発に対するコンセプトは次の通り  
・熱海・伊東(一大エンターテインメント&アートのまち=ショー・ビジネスの舞台として売り出す)  
・下田(南伊豆の目玉施設として日米修好センター開設=日米物語のすべてを)  
・東部全域(定住人口増を目指してインキュベーター施策の展開)  
・三島・函南(水の都・箱根山ろくを快適で文化的な居住地として整備)  
・西伊豆(松崎~土肥間の海岸美を全国に売り出す=平成8年4月1日付で連載が始まった静岡新聞朝刊小説「人々の峠」の舞台)



# 東部地域の将来ビジョン

## ひかり輝く地域づくり

高度情報化が進む中で、地域構造の形成システムや人々のライフスタイルは、大きくかつ急激に変化しています。

21世紀に向け、我々の生活の活動範囲や地域交流もより広がり、多様なものになると予想することができます。

そこで、新時代を考えた静岡県東部地域の発展、調和のため、「ひかり輝く地域づくり」を目指し、3つのゾーンを設定しました。

### 岳南地区分科会

美しい自然の中に、産業、文化、生活が融和する

#### まるごと富士山ゾーン

富士地域は、富士山の自然資源に恵まれ、モノづくりの高度な産業集積、富士山文化と調いのある生活が過度に調和し、日本一の富士山を背景に、美しさを兼ね備えた地域で、首都圏や周辺地域との県際交流がさらに進むゾーンです。

自然との調和をモットーに環富士山麓の都市がネットワークし、国際的レベルの産業、文化を創造し、発信する。陽光に映える夏峰のかがやきをもつ「まるごと富士山」をイメージする。

今後、富士地域は、環富士山麓地域へ向かう人・モノ・心の流れがますます活発となります。首都圏からの流れを受けとめるばかりでなく、特に、富士山を囲む周辺の圏域との交流を積極的に進め、環富士山麓地域の中核を担うとともに、日本を代表する富士山と共に、楽しさと美しさを表現する圏域となります。

### 沼津・三島・駿東地区分科会

世界の人々とにぎわい交流する

#### にぎわい拠点ゾーン

沼津・三島・駿東地域は美しい駿河湾や富士山の豊かな自然環境の中で、世界の人々と産業、文化で交流を行い、環境と融和した質の高い生活基盤を創造し、広範囲の交流が進む拠点ゾーンです。

自然と共生し、周辺とのネットワークにより拠点都市としての役割を構築していく中で、産業・文化をさらに創造し、発信して拠点性を高め、「にぎわい拠点」を目指しイメージする。

沼津・三島・駿東地域は、地方分極も徐々に進みさまざまな顔の地域が独自の個性を持った優れた地域を創造する予感があります。人々のさまざまなライフスタイルを自分流で実践できる場として地域を醸成し、楽しくファッションブルな生活を表現する圏域となります。

### 伊豆地区分科会

世界の人々が集い、交流する

#### まるごと創美創健ゾーン

伊豆地域は、豊かな自然資源に恵まれ、観光・文化・アウトドア・リゾート地として、さまざまな人々が集い交流し、新時代にふさわしい憩いと学びと遊びの空間をもつゾーンです。

シーズンを通し、スポーツレクリエーション、交流、滞在できる観光リゾート機能と快適な都市機能を併せもち、楽しくゆったりと過ごし、心ふれあう、「まるごと創美創健」を目指しイメージする。

伊豆地域は、豊かな自然、海や山の幸、良質な温泉や観光リゾート資源を生かし、新しい生活空間、リゾート空間として発展していきます。また、新たに「美」、「健康」を加えた創造空間として、人々が集い、交流する未来型のライフスタイルを表現する圏域となります。

● 東部地域の11プロジェクト  
本提案の分科会別プロジェクト

■ 岳南地区分科会の基本戦略提案

- ① 自然系博物館構想
- ② アジアのこどもの国構想
- ③ ハイウェイオアシス構想
- ④ 匠の村構想

■ 沼津・三島・駿東地区分科会の基本戦略提案

- ⑤ 行政センター構想
- ⑥ 県がんセンターと周辺開発構想
- ⑦ 国立人類学博物館構想

■ 伊豆地区分科会の基本戦略提案

- ⑧ 静岡県産業人材育成センター構想
- ⑨ 観光大学校構想
- ⑩ 観光情報センター構想
- ⑪ 温泉研究所構想





# 伊豆地区分科会の基本戦略

伊豆は豊かな温泉と風光明媚な観光地として、経済的な発展を遂げてきました。しかし、バブル経済の崩壊、あるいは海外旅行者の増加や他の国内観光地の成長といった社会変動により、体質改善を迫られる時期をむかえました。

そこで、観光伊豆の復権を目指した体質改善として、以下の3点を問題提起します。

まず1点目は「意識改革」です。既存の伊豆のイメージを払拭し、未来像として「滞在型」で「心身をリフレッシュできる場」のイメージづくりが望まれます。

2点目には、伊豆ならではの豊かな自然を生かし、環境や医療をテーマとした産業興しなどの「世界に誇れる宝の発掘」を提起します。

そして3点目には、伊豆の宝を国内外に向け、存分にアピールするための「情報発信機能をもった受け皿づくり」が必要となります。

伊豆地区分科会の基本戦略として、観光伊豆の復権のために以上の3点を問題提起します。

## キーワード

人と自然との共生

地域資源の活用

健康・療養・美容のキーワード  
での新しい産業構造へのシフト

時間の計画

個性の演出と新しい産業構造の創出



伊豆地区分科会の基本戦略提案

- ① 静岡県産業人材育成センター構想
- ② 観光大学校構想
- ③ 観光情報センター構想
- ④ 温泉研究所構想

## 主要なプロジェクト

### 【基盤整備事業】

- ・伊豆縦貫自動車道
- ・国道414号線バイパス
- ・東駿河湾環状道路整備事業
- ・伊東港マリンタウンプロジェクト事業
- ・下田港再開発事業

### 【伊豆地域活性化促進事業】

- ・伊豆観光博覧会
- ・全国植樹祭
- ・静岡国体

### 【サンフロント提言プロジェクト】

- ・静岡県産業人材育成センター構想
- ・観光大学校構想
- ・観光情報センター構想
- ・温泉研究所構想



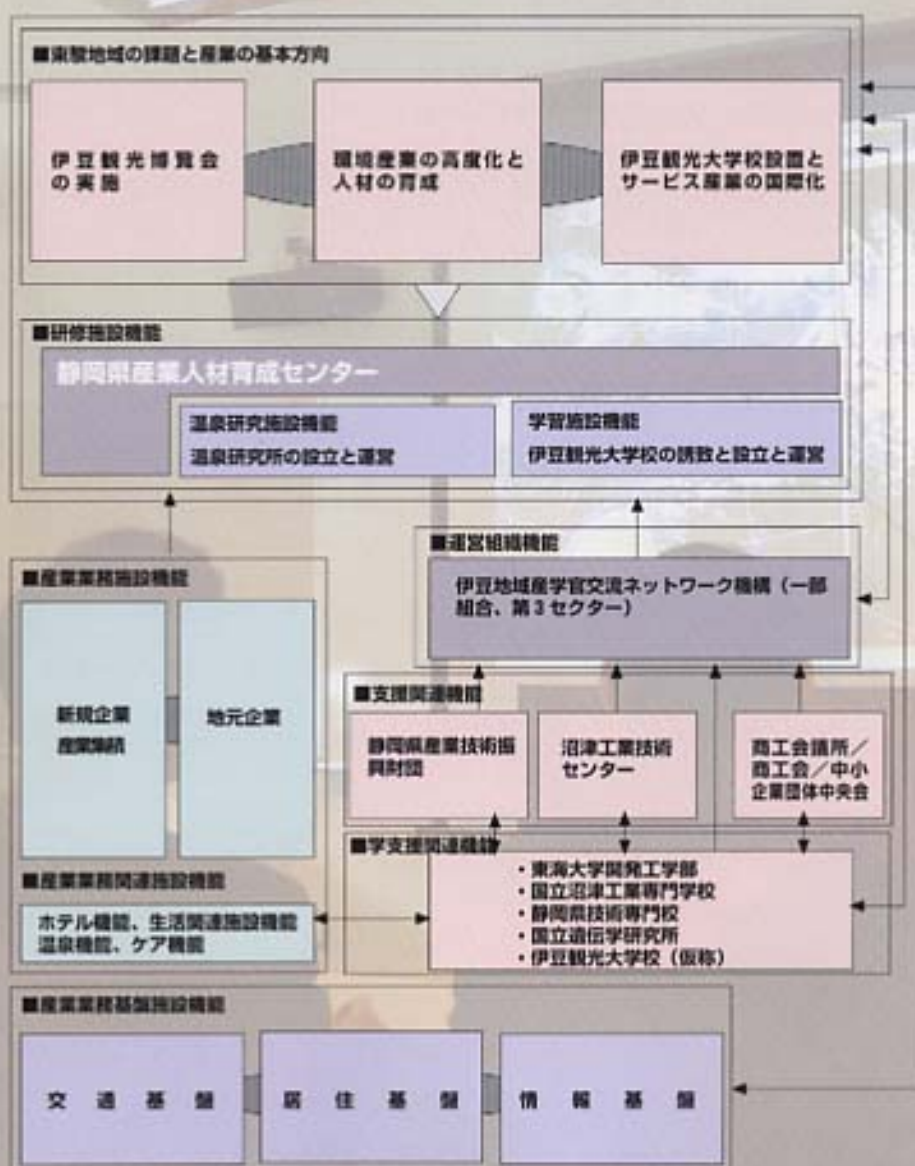
# 静岡県産業人材育成センター構想

## 基本的な考え方

産業を側面的に支援するための人材育成が、静岡県産業人材育成センターの主眼です。

具体的には、①観光大学の研究成果を民間企業に移転し、実用化の応用研究を進めるための開放型試験研究事業②地域の中小企業の技術者、経営者を対象に大学などが協力して人材を育成する③研究、技術セミナーなどの交流事業④低廉な条件で創成期の企業や個人にオフィスを提供する研究開発型企業育成支援事業で、その一部はインキュベート施設をもつ⑤地域内外の企業スペースを提供する⑥産業を支援するための都市づくりの視点で事業を進める、などの役割を果たす予定です。

## 産業業務支援のスキーム



# 観光大学校構想

## 基本的な考え方

観光産業の高度化のためには余暇やレジャーだけではなく、人材育成や地域産業との交流など、視野を広げることが重要となります。

そこで、伊豆観光大学校では、地域産業との産学交流により、高水準の知識や情報サービスの多様化に対処します。観光に加え健康・医療・福祉などの分野にも目を向け、観光学科、国際経済学科、健康・医療・療養・スポーツ医学科、栄養学科などを開設する予定です。「学・官・産・地域」との一体化を進めるために「観光情報センター」を設置し、地域の活性化を目指します。

また、産業を全面的にサポートするために「伊豆温泉研究所」など関連施設も併設する予定です。

## 観光大学校構想の基本方向

日本一の富士山を望む大なるパノラマ大展望地、自然環境に恵まれた伊豆観光大学校を建設するものである。この構想は、伊豆観光大学校施設を中心とした既存観光の産業を築き、明るく楽しい演出の場とするものである。

当該構想の基本整備により、観光産業関連の産業構造の高度化、観光事業の複合事業にインセンティブを与え、新たなマーケットを形成し、地域の活性化を促し、全国でも突出した地場産業と密着した大学の在り方を創造する。



### 意味的効果

この地域開発は、地域産業の高度化を担いとするものであり、そのための高度な教育を受けた人材を地域産業に輩出するための教育施設である。事業手法は、公設で進め、地域産業と積極的にネットワークを図っていく。

### 観光大学校と 関連産業の創造

若い人の教育の場の創造

新しい産業構造の創造

新しい地域イメージの創造

地域研究事業の採録性の確保



### 感覚的効果

伊豆地域の従来のイメージを試す。黄金型から健康・療養・長期滞在型。「時間がかり高い」から「近くて早く安く美しい」イメージを構築する。さまざまなニーズに対応した利用パターンを創出する。さらに、若者たちの感覚でスポーツをしているようなイメージの演出を組み立てる。

### 実質的効果

観光産業の集積や自然環境資源を保全しながら、新しい地域産業の可能性を具現化することにより、新しいマーケットの創出と若く優秀な人材の定着化を図り、地域経済の活性化を実現する。



# 観光情報センター構想

## 基本的な考え方

健康、福祉、生活のあり方や高齢化社会のビジョン、観光情報などの提供、啓発を行います。また、観光大学校や温泉研究所などの支援を実施します。

具体的な主要事業としては、①観光事業の啓発普及、情報提供②研究開発助成③コンベンション企画、支援事業④宿泊者のチケットの発行、パブリシティ・企画事業⑤観光事業やイベント立案企画、支援事業などです。

同センターにはコンベンションホール、観光サービスセンター、情報センターなどの施設を想定しています。

## ゾーンの概念

コンベンション  
ホール

チケットセンター

観光業者業務施設

観光情報  
センター

総合管理施設



# 温泉研究所構想

## 基本的な考え方

わが国では、高齢化の進展に伴い、医療ニーズは拡大しています。温泉研究所は健康、医療、福祉分野の先導的拠点として、世界に開かれた研究施設です。人間の生体に関する免疫や生理機能といった基礎的な研究を行います。

主要事業としては①新薬や新しい検査法、新しい医療機器・システムの開発など②共同研究、受託研究事業③民間企業に対する研究支援、研究成果提供事業④共同利用施設・設備の開放事業⑤温泉関連施設・設備の開放事業などを予定しています。同研究所には研究棟、事務処理棟、実験棟、交流施設などの設置を想定しています。



## ゾーンのご概念

総合管理施設

温泉資料館

温泉効用  
センター施設

情報  
センター  
施設

温泉技術施設



# 沼津・三島・駿東地区分科会の基本戦略

東部地区は、さまざまな交通機関の通過、海、富士山、壮大なレジャー空間があり、非常に立地条件に恵まれています。しかし、各町が個別に地域を大切にしながら発展してきたため、東部地区全体としての発展が遅れていることは事実です。

変動の時代のなかで、東部地区がより発展するためには、各地域が特色をもち、魅力のある地域づくりを進める必要があります。そこで、ヨーロッパで小国の集合により結成された欧州連合（EU）のような、「都市連合」を東部地区に提案します。東部28市町村が独自性を保ちながら全体として発展することを目指して、以下の5点を目標とします。

1点目は議会のようなものをつくり「みんなで考える」という原則、2点目は病院、図書館、美術館などの施設を効率的に「みんなで所有し利用する」という考え方です。3点目は大学を地域に開放し「みんなで学ぶ」ということ、4点目はネットワーク化を進め「みんなで支援する場」をつくること、5点目は行政改革により「みんなで効果を上げる」ということです。

これらの5点を都市連合の基本的なコンセプトとして、行政、民間の両者の参加により、「独自性」を維持しながら「共同化」を進め、東部地区全体の連携、活性化を図ることが望まれています。

## キーワード

人と自然との共生

地域資源の活用

拠点性の集積と都市間  
連携の強化

時間の計画

拠点性の創出と  
都市間連携の構築

■沼津・三島・駿東地区分科会の基本戦略構想

- ①行政センター構想
- ②県がんセンターと周辺開発構想
- ③国立人類学博物館構想

## 主要なプロジェクト

### 【基盤整備事業】

- ・第二東名高速自動車道整備事業
- ・国道414号線バイパス
- ・東駿河湾環状道路整備事業
- ・沼津港マリンタウンプロジェクト事業
- ・沼津駅周辺総合整備事業
- ・ダイアログ構想（御殿場市）

### 【沼津・三島・駿東地域活性化促進事業】

- ・伊豆観光博覧会の開催
- ・静岡国体の開催

### 【サンフロント提言プロジェクト】

- ・行政センター構想
- ・県がんセンターと周辺開発構想
- ・国立人類学博物館構想



# 行政センター構想

## 基本的な考え方

行政センター構想の趣旨は、行政機構（市町村、静岡県出先機関）を統合することにより、地方分権を積極的に行うことを雄県の条件として、きめの細かい効率的な行政指導や政策推進の拠点機能を集約化することです。さらに、行政と企業による地域づくりを一体で進めるものです。

すなわち、この行政センターは、行政機能はもとより、産業を活性化するための地域戦略、新しい地域づくりとしての高度都市機能の導入により、「生き生きとした活力ある産業構造と豊かで調いのある東駿づくり」を構築することを目的としています。さらに、産業を個面的にサポートするためのコンベンション機能や都市機能の関連施設の建設に対して、インセンティブを与えるような狙いも含まれています。

今後、行政センター構想の実現へのシナリオづくりとして、産学官が構成する東駿活性化センター機構（仮称）を設置、これを中核的な組織として、さまざまな産業交流を行い、既存組織の融合を行うことから着手していきます。併せて現在、国・県・市町村等で進められている制度・産業支援の窓口の一本化、企業ニーズに即応できる支援サービス体制などを積極的に推進することが望まれます。





J R 沼津駅周辺を想定した「行政センター」の青写真





# 県がんセンターと周辺開発構想

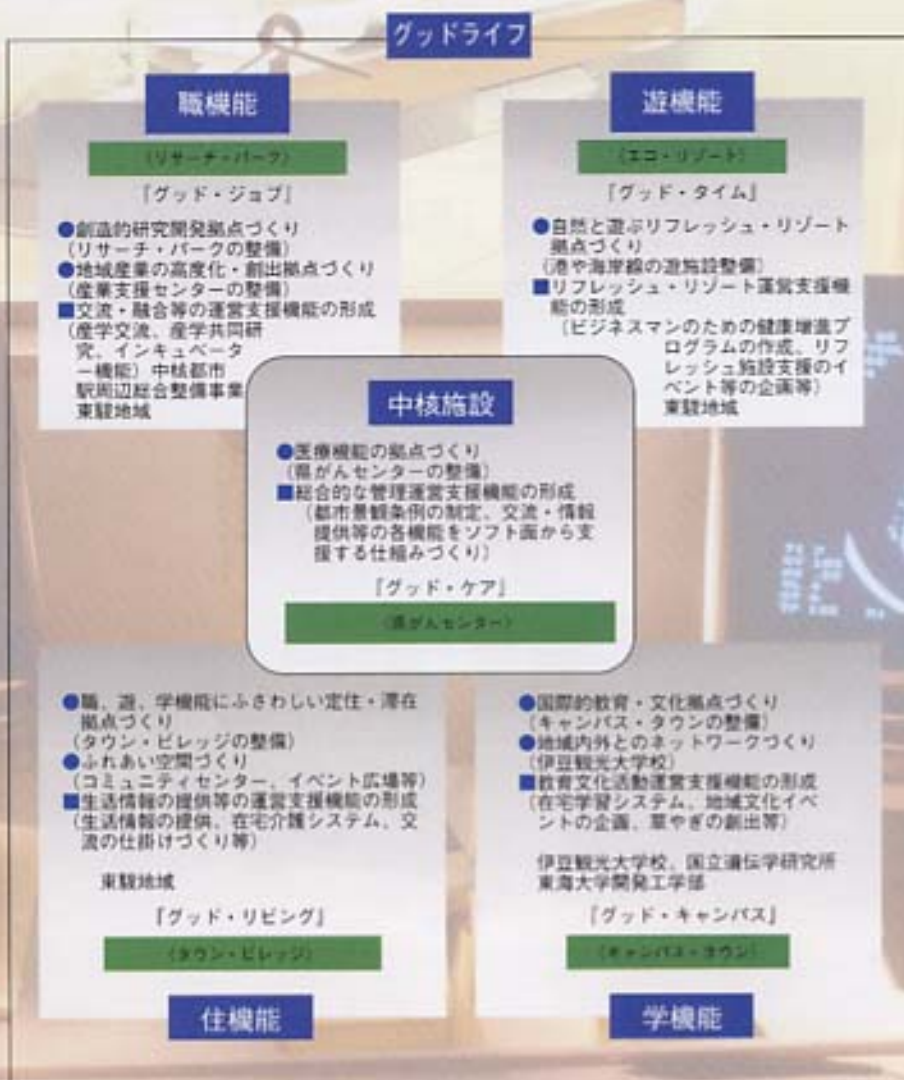
## 基本的な考え方

県がんセンターと周辺開発構想の趣旨は、医療・医薬・健康の化学産業を偏面的に支援するものです。産業として医療・医薬・健康などの研究開発型企業を育成するために、研究開発型産業構造に転換することを主眼に置きます。

現在、進められている企業活動をネットワーク化することを第1段階として、企業のキャッチアップを進めていきます。さらに、県がんセンター、地域医療機関、医療関連企業等の交流から新たな創造を生みだし、地域の活力や個性化を促すことを期待しています。

県がんセンターと周辺開発構想は、地域医療の充実を図るとともに、新しい産業構造の構築にインセンティブを与えるためのものです。地域開発戦略の視点を組み込んだ「生き生きとした活力ある産業構造と豊かで潤いのある東駿づくり」を構築することがねらいです。

## ゾーンの問題



# 国立人類学博物館構想

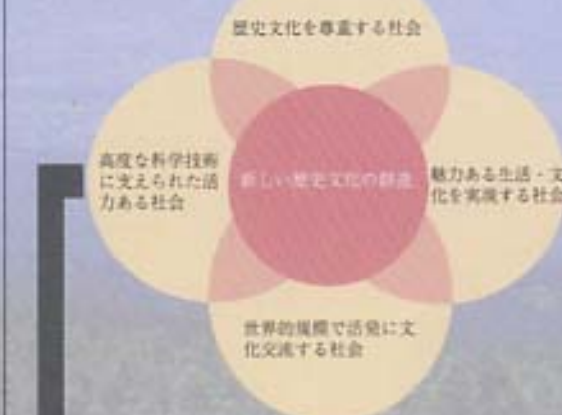
## 基本的な考え方

国際化、ボーダーレスの時代を生きる私たちは、これまでとは違った意識、態度の改革が必要なことは今さらいうまでもないことです。その一方で、古くは大陸文化、近くは西洋文明の影響を色濃く受け、長い時間の中で作り上げられてきた日本文化を自らが、はっきりと自覚することが重要です。そして、日本文化を広く世界の人々に伝え、理解するための拠点として「国立人類学博物館」を提案します。

この「国立人類学博物館」構想は、日本人とその文化を後世に伝えるとともに、世界の人々に「日本」を知ってもらうことがねらいです。21世紀を目前に控えた国家的な事業により、日本の象徴であり心の拠り所である「富士山」の麓に設置しようとするものです。

### 歴史文化を主体とした新しい産業の姿

多様な価値を創造し、豊かなふれあいを実現する産業社会



歴史で活力ある産業を創造する豊かな知的活動

未来を拓く「創話・静岡」の形成

信頼を築く「歴史し・静岡」の醸成

世界と交流「文化交流・静岡」の構築

地域における歴史を主体とした産業の新展開



# 岳南地区分科会の基本戦略

まるごと富士山をスローガンに、富士山周辺を観光レクリエーションのメッカにしよう。現在、富士登山を含めて年間700万人が訪れます。富士山は国家的な資産であるとともに、県民にとってかけがえのない財産でもあります。

しかし、利用者の増大は貴重な自然資源の減少や自然環境の保全上の環境問題も抱えています。

そこで、静岡県では、「富士山100年プロジェクト：3776推進事業」を進めています。富士山は、豊かな自然環境と景観に恵まれ、麓から山頂まで植物が垂直分布しています。富士山の高さにちなんで3,776mを3,776坪に置き換え、県民参加による自然林の復元を行っています。

この事業は、森林や自然の保全と復元に向けた調査研究を行い、日本の富士山を国営公園として整備していくものであります。

国営公園区域には、こどもの国や自然系博物館等の施設も散在させ、調和のとれた空間にしたいと考えています。

## キーワード

人と自然との共生

地域資源の活用

拠点性の集積と都市間  
連携の強化

時間の計画

自然との共生と  
新しいライフス  
テージの創造

アジアのこどもの国 岳南地区

## ■岳南地区分科会の基本戦略提案

- ① 自然系博物館構想
- ② アジアの子どもの国構想
- ③ ハイウェイオアシス構想
- ④ 匠の村構想



## 主要なプロジェクト

### 【基盤整備事業】

- ・ 第2 東名高速自動車道整備事業
- ・ 国道496号線バイパス
- ・ 田子の浦港の港湾整備事業
- ・ 新富士駅周辺整備事業
- ・ 富士宮駅周辺整備事業
- ・ ふじニューピア構想
- ・ 富士山博物館構想

### 【岳南地域活性化促進事業】

- ・ 静岡国体の開催

### 【サンフロント提言プロジェクト】

- ・ ハイウェイオアシス構想
- ・ 自然系博物館構想
- ・ アジアのこどもの国構想
- ・ 匠の村構想



# 自然系博物館構想

## 基本的な考え方

富士山は世界の財産。東部の人々はそこに暮らしています。そうした中で、富士山はこのままでいいのかという思いがあります。全国で博物館を所有していないのは、静岡県だけです。この地域の人々は気付いてはいませんが、ここを訪れ、富士山が見えるのと見えないのとでは、感激は大違いです。

そこで、富士山の植物、動物、地学、地形や地質の特性、ジオの世界の地殻の変動などさまざまな状況を提供できる自然系の博物館を提案します。

この自然系博物館のテーマとしては、「日本一の標高を誇る富士山の四季」「富士山の火山としての生い立ち」「自然の宝庫である南アルプスの四季や植生、変化」「駿河湾の生物の生態」「地震と関連のあるプレートの変動」等を考えています。



## ゾーン

樹木の森  
ゾーン  
(ビオトープ)

ジオパーク  
ゾーン

ビッグエコゾーン

駐車場ゾーン

植生センター  
ゾーン



# アジアのこどもの国

## 基本的な考え方

「こどもの国」はアスファルトなど一切使わない自然の石でつくります。木は全部富士ヒノキを使い建築物以外はつくりません。防腐剤の入ったものもだめ。よそにないものを富士山の国営公園の中につくり、しかも、年間四季を通して何回も遊びにこれるような場所にしたいと考えています。さらに、アジアの人々の交流の拠点になるようにさまざまな人々を呼び、富士山の麓で日本の良い点を学び、ふれあうことにより絆を強めてもらう場としていきたい。日本が老人大国になった時、新しい産業として展望が開けるのは観光事業以外ないと思われます。富士山を日本の宝から世界の宝として育ていき、次世代に受け渡しをしていきたいと考えています。



ゾーンのご案内

言語研修  
センター

こどもの国  
(県)

カルチャーパーク

子供大使館(国別)

アジアの  
こどもの国

ビジターセンター

体験パーク





# ハイウェイオアシス構想

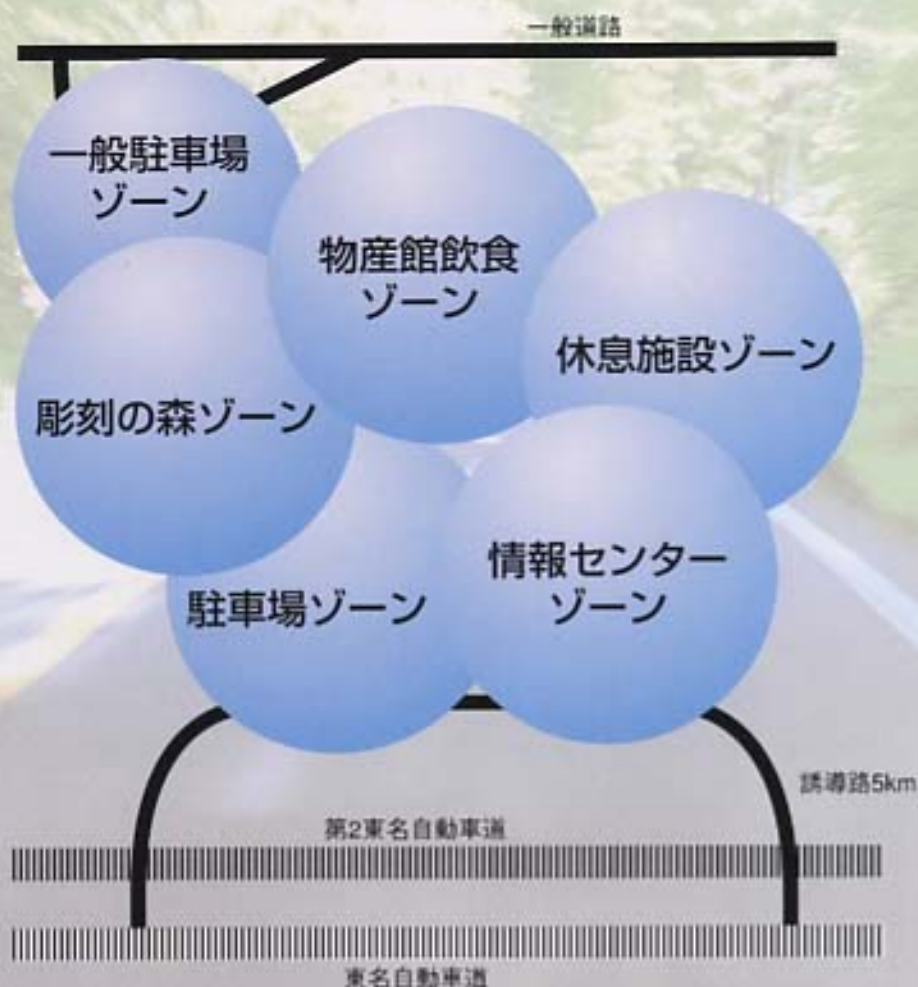
## 基本的な考え方

第2東名高速自動車道の富士ICと長泉・沼津IC間には、サービスエリア設置の計画がありませんでした。そこで県と地元が協力して、この間に「ハイウェイオアシス」をつくろうというものです。富士川サービスエリアが新しくなりますが、これと同じ方式で東名利用者も、地域住民も利用できる地域開放型のものを考えています。

現在、1日、第1東名自動車道は6万6千台程度の車が通行しています。車両は双方の高速道路からハイウェイオアシスに入ることができ、富士山をゆっくり見ながらくつろいでもらうと同時に、地元の物産等を取り扱う商業施設や文化施設等を予定しています。行政と地元とで第3セクターを組織して運営を行いたいと考えています。



## ゾーン概念



# 匠の村構想

## 基本的な考え方

富士山は、古くから信仰の山として親しまれてきました。心の支えから自然を生かした自然教育のフィールドとして活用を図ることが目的です。そして、この広大な自然空間の中に陶芸、美術、写真、音楽等のさまざまな分野の優れた技能を持つ人達を呼び寄せ、「匠の村」をつくりたいと考えています。日本の伝統芸術を世界の人々と学び、働き、遊び、住み、そして富士山と共に育める場としていきたい。



## ゾーンのご概念





# 実現に向けての行動計画

思いつきの型

## ●静岡県への11プロジェクト提言

本提案の地区分科会別プロジェクトは以下に示すとおりです。

### ■伊豆地区分科会の基本戦略提案

- ①静岡県産業人材育成センター構想
- ②観光大学校構想
- ③観光情報センター構想
- ④温泉研究所構想

### ■沼津・三島・駿東地区分科会の基本戦略提案

- ⑤行政センター構想
- ⑥県がんセンターと周辺開発構想
- ⑦国立人類学博物館構想

### ■岳南地区分科会の基本戦略提案

- ⑧自然系博物館構想
- ⑨アジアのこどもの国構想
- ⑩ハイウェイオアシス構想
- ⑪匠の村構想

以上の11プロジェクトを静岡県に対して提言させていただきます。

## ●計画推進のために

### ■寄付を募りプロジェクトを推進

本提案のプロジェクトは、特に県・国や市町村の事業の性格が強いものが多いが、圏域住民や企業等の民間の果たす役割も非常に大きなものです。その中で、圏域住民や民間企業は、側面的に事業を後押しすることが求められています。そのために、プロジェクトごと地域別に寄付を募ることを提案します。

#### ◆寄付対象プロジェクト

- ・行政センター構想
- ・観光大学校構想
- ・アジアのこどもの国構想
- ・国立人類学博物館構想

#### ◆民間主導対象プロジェクト

- ・匠の村構想
- ・温泉研究所構想

#### ◆国への要請対象プロジェクト

- ・国立人類学博物館構想
- ・観光大学校構想
- ・ハイウェイオアシス構想
- ・行政センター構想

## ■地方分権に向けての広域連携 による地域づくりの推進

広域行政の推進力の向上や豊かな財政力を築くための産業基盤の強化・育成に努めながら、市町村との連携を強め、個性ある自立した都市圏域を形成するために、きめの細かな施策を展開していきます。

### ◆広域連携対象プロジェクト

- ・行政センター構想
- ・観光大学校構想
- ・アジアのこどもの国構想
- ・国立人類学博物館構想
- ・観光情報センター構想
- ・自然系博物館構想

## ■事業コンペの勧め

本提案のプロジェクトについては、現状で検討していても、具体的に進む見通しが長期的にかかるものが数多いと考えられます。そのために、事業の推進を図る意味で、民間の活力を期待し、事業のコンペティションを行うことを提案します。

### ◆対象プロジェクト

- ・行政センター構想
- ・観光情報センター構想
- ・観光大学校構想



## 4月13日スタート!!

サンフロント21懇話会を母体とするSBSラジオの新番組  
「サンフロント発!土曜ワイドラジオEAST」(毎週土曜日  
11:00~12:50)が、96年4月13日(土)スタートしました。

初めて沼津(サンフロント)から発信する生放送のワイドプログラム「ラジオEAST」は、文字どおり静岡県東部の情報を全県に発信するために生まれた番組。富士山、伊豆をはじめ世界的な魅力の宝庫である県東部の活性化を目標としています。

パーソナリティー・リポーターは県東部各地区の出身者が勢揃い。伊豆長岡町出身の山田幸代をメインパーソナリティーに、沼津市の高橋恵子、御殿場市の芹沢ゆみか、富士市の若林かおりがそれぞれ地域の代表として元気に飛び回ります。

番組の内容は、「ラジオEAST聴いたよ」と言えばいいことがある「マル得EAST」、東部の秘密を探検する「こだわり探検隊」の他、「静岡情報原人が行く」[VIPのランチ]等様々な切り口で県東部の魅力を紹介していきます。特に「静岡情報原人が行く」[VIPのランチ]は、サンフロント21懇話会のメンバーの皆様にも順次ご出演願っていく予定であります。その節はよろしくご協力下さい。

またこの番組は、皆様からの新鮮な情報が命です。全県のリリスナーにアピールしたい情報をどしどし番組までお寄せ下さい。



## サンフロント発「土曜ワイドラジオEAST」

(SBSラジオ・毎週土曜日11:00~12:50・生放送)



サンフロント21懇話会から生まれた「ラジオEAST」。SBSラジオの看板番組に大きく育てようと、スタッフ一同頑張っております。土曜日の11時はSBSラジオにお耳をお貸し下さい。

**SBS** 静岡放送 東部総局 ラジオEAST係  
TEL 0559-62-0381 FAX 0559-62-8503





# サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
相原 浩人	(株)新井	代表取締役社長	石渡 文治	石渡産業(株)	代表取締役
青木 喜代司	青木興業(株)	代表取締役	井出 和子	井出和子きもの学院	学院長
赤堀 博	赤武(株)	代表取締役社長	井出 誠	(株)富士フロンテ	取締役社長
秋田 早苗	(株)静岡新聞社・静岡放送(株)	専務取締役	井出 敏	富士共和製紙(株)	取締役社長
秋津 三郎	函南町商工会	会長	伊藤 春秀	浄蓮の湯協業組合	代表理事
秋元 一寿	秋元水産(株)	代表取締役	伊原 孝雄	静岡県農業協同組合中央会東部支所	支所長
秋山 正幸	日本大学国際関係学部	学部長	稲葉 悦一	伊東観光協会	会長
秋山 暢夫	沼津市立病院	院長	稲葉 安久	(株)東海館	代表取締役
浅羽 愛子	(株)あさば旅館	代表取締役社長	乾 精治	(株)スルガ銀行	常務取締役
朝比奈 博光	静岡県下田財務事務所	所長	井原 一夫	伊東温泉名店街(株)	代表取締役社長
芦川 豊	静岡県信用農業(協)連合会沼津支店	支店長	今井 義行	安田生命保険(株)沼津支社	支社長
足立 徹	(株)落合楼	代表取締役社長	今関 正典	(有)今関商店	代表取締役
阿部 静男	富士通(株)沼津工場	工場長	岩崎 明	静岡県沼津財務事務所	所長
天野 正治	静岡県総合住宅情報(株)	取締役社長	岩瀬 一郎	沖電気工業(株)公共システム事業本部沼津工場	工場長
飯作 繁	(株)飯作造船所	代表取締役社長	榎草 康臣	(株)榎草社榎草新聞店	代表取締役
飯田 武彦	伊豆の国農協	代表理事	榎田 勝男	静岡県農産部行政センター	所長
飯塚 俊晴	(有)飯塚工務店	代表取締役	榎松 眞	(株)東洋パイルヒューム管製作所	代表取締役社長
井口 賢明	弁護士		白井 進	芝川町	町長
井口 修一	(株)フジスポーツ	代表取締役	宇田 治由	(有)白壁荘	代表取締役社長
池田 信夫	(株)静岡銀行	常務取締役	内海 重志	御殿場市	市長
池田 誠	池田病院	院長	内田 隆久	伊豆洋らんパーク	代表取締役専務
池田 尚志	(株)SBSプロモーション	取締役社長	内田 文美	弁護士	
池谷 喜幸	(株)池谷商会	代表取締役	内田 悠一	農事組合法人 堂ヶ島洋らんセンター	代表理事
池谷 滋雄	池谷紙工(株)	代表取締役社長	内田 滋	(資)古屋旅館	会長
池谷 淳	下田市	市長	内野 敏太	大同建設工業(株)	代表取締役
石井 利平	(株)石井組	代表取締役社長	宇野 三郎	(株)核中軒	代表取締役会長
石井 純一	(有)万邦自動車	代表取締役	宇野 純彦	(株)核中軒	代表取締役社長
石井 茂	三島市	市長	江川 眞朝	東海自動車(株)	取締役社長
石川 裕純	静岡製紙工業(株)	常務取締役	榎本 敏博	静岡県富士土木事務所	所長
石崎 章吾	(株)エム・エス・エス	専務取締役	遠藤 雅巳	修善寺町商工会	会長
石澤 敏夫	日産プリンス沼津販売(株)	代表取締役	遠藤 里美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
石田 常吉	松崎町	町長	遠藤 志男	(有)遠藤新聞舗	専務
石橋 雄	富士通(株)沼津支店	支店長	大石 嘉久治	(株)伊豆新聞本社	取締役社長
石原 祐一郎	石原機械工業(株)	代表取締役社長	大石 益光	(株)静岡新聞社	取締役社長
石原 新二	MOAインターナショナル	広報部長	大鐘 浩志	(株)イシバシプラザ	常務取締役
石原 誠	東伊豆町	町長	大木 正明	大富運輸(株)	代表取締役

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
大木 理久夫	(株) 沼津マリーナ	代表取締役	藤又 英男	(株) 藤又新聞店	代表取締役
大木 俊一	伊豆急行 (株)	取締役社長	藤岡田 芳樹	(学) 東駿学園御殿場西高等学校	理事長
大木 一清	土肥町	町長	加藤 幸彦	(株) コーゲツ	代表取締役
大堀 耕三	(有) つりばし荘	専務取締役	加藤 覚郎	伊豆箱根鉄道 (株)	代表取締役社長
大城 恒夫	(株) カのや商店	取締役社長	加藤 久雄	小松観光 (株) 堂ヶ島小松ビューホテル	社長
大多和 昭二	静岡県伊豆県行政センター	所長	加藤 昌利	(株) ホテル領水荘	取締役副社長
大野 英市	(株) ホテル大野屋	代表取締役	加藤 弘隆	スルガコンピューターサービス (株)	代表取締役
大橋 光雄	沼津商工会議所	会頭	金指 光義	(株) 稲取観光ホテル	代表取締役
大橋 俊二	裾野市	市長	金井 隆直	(株) 結安商店	代表取締役専務
大村 憲紀	大村歯科医院	院長	神長 邦雄	静岡県富士工業技術センター	所長
大柳 周三	(株) 静岡新聞社	取締役出版局長	河口 隆二郎	(株) 増進会出版社	取締役会長
小笠原 次雄	中伊豆町商工会	会長	川口 新	富久興製紙 (株)	代表取締役
小笠原 一夫	宇徳通運 (株)	代表取締役社長	川口 清俊	富士商工会議所	会頭
尾形 充生	(株) 静岡中央銀行	社長	川口 市雄	熱海市	市長
岡野 光喜	(株) スルガ銀行	頭取	河越 太郎	東京堂 (株)	代表取締役社長
岡村 達	(株) 小田急キャブエージェンシー	常務取締役	河田 清司	加和太建設 (株)	代表取締役
岡本 久美子	日本産業 (株) 岡本ホテル	代表取締役社長	河津 市元	河津建設 (株)	専務取締役工事部長
高野 廣一	昭新紙業 (株)	代表取締役	河津 正治	下田商工会議所	会頭
利部 圭二	(有) 啓伸社印刷部新聞店	社長	川西 修司	(株) 静岡新聞社	取締役事業局長
長田 吉弘	(株) オサコー建設	代表取締役	河村 学	住友生命保険 (相) 沼津支社	支社長
長田 夫	小山町	町長	菊池 利郎	南伊豆町	町長
小田 銀平	(株) 静岡新聞社	取締役販売局長	北岡 貴人	(株) 華香園	代表取締役社長
小野 徹	小野建設 (株)	代表取締役社長	木所 謙直	(有) ドルセ	代表取締役
小野 正	伊豆長岡町	町長	木下 秀彰	(財) 東日本鉄道文化財団	副理事長
小野寺喜一郎	富士設計 (株)	代表取締役社長	君澤 藤一	(株) ハックキミサワ	代表取締役社長
大日方 幸保	(株) 地域システム計画研究所	代表取締役社長	木村 哲也	野村証券 (株) 沼津支店	支店長
小柳津 隆弘	(株) 静岡新聞社	取締役編集主幹	木村 博彦	木村舗造所	代表取締役
瀬原 正雄	沼津卸産社センター	代表理事	清田 茂徳	第一生命保険 (相) 沼津支社	支社長
柏木 忠夫	長泉町	町長	久保田 隆三	春日製紙工業 (株)	取締役社長
片桐 勝	日産火災海上保険 (株) 静岡支店沼津支社	支社長	久保田 喜一	静岡放送 (株)	取締役SBS学究本部長
片野 勇	(株) 伊豆味噌醸造所	代表取締役	倉持 衛夫	国立東静岡病院	院長
片山 修司	片山建設 (株)	専務取締役	小池 俊郎	静岡県富士県行政センター	所長
片山 勘	伊豆総合産業 (株)	代表取締役社長	小泉 和久	小泉アフリカライオンサファリ (株)	代表取締役
藤又 規雄	ライオンファイル (株) 富士工場	代表取締役	小暮 秀夫	(株) 富士急百貨店	代表取締役社長
藤岡田 一男	駿河信用金庫	理事長	五條 朝男	(株) 静岡新聞社	取締役総務局長
藤岡田 久嗣	二葉建設 (株)	代表取締役	小谷 勇	(株) 静岡新聞社	取締役東部総局長



# サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
後藤 全弘	(株) ゴトー	代表取締役社長	志田 真澄	(株) 志田商会	代表取締役
後藤 孝	ビヨンス (株)	取締役社長	清水 進一郎	丸二産業倉庫 (株)	代表取締役
後藤 武茂	(株) ウィステリア	代表取締役	清水 光熙	御殿場高等病院	院長
後藤 泰利	(有) 利ゴトー	代表取締役	下山 忠男	天城湯ヶ島町	町長
後藤 大右	(株) 後藤組	代表取締役	庄司 良三	ツカサ観光興業 (株) ホテル和光	取締役社長
後藤 豊	スルガカード (株)	代表取締役	庄司 清和	米久 (株)	代表取締役社長
近藤 安敏	近藤鋼材 (株)	取締役社長	杉田 至弘	静岡放送 (株)	取締役東京支社長
齊藤 洋	沼津三菱自動車販売 (株)	代表取締役社長	杉本 善公	(株) 山田家	代表取締役社長
齊藤 元男	丸京 (株)	代表取締役	杉本 哲男	杉本工業 (株)	代表取締役
齊藤 知三郎	大昭和紙工業 (株)	代表取締役社長	杉山 一壽	(株) ゆもとや旅館	代表取締役
齊藤 幸秀	京王製紙 (株)	代表取締役	杉山 征男	(株) ヌマツペーカリー	取締役社長
齊藤 大	伊東瓦斯 (株)	代表取締役社長	杉山 定久	南富士産業 (株)	代表取締役
斉藤 春世	斉藤設備工業 (株)	代表取締役会長	杉山 博一	(有) 杉山バラ園	代表取締役
齊藤 敏	(株) 齊藤組	代表取締役社長	杉山 茂年	(株) 杉山工務店	代表取締役
佐伯 隆彰	(有) 佐伯新聞店	代表取締役	鈴木 通敬	(株) スズハチ	代表取締役
酒井 敏朗	(株) 下田温泉ホテル	代表取締役社長	鈴木 國弘	五洋建設 (株) 沼津営業所	所長
神原 茂幸	沼津石材 (株)	専務取締役	鈴木 史彦	(株) 富士根産業	代表取締役
櫻井 泰次	河津町	町長	鈴木 菊三郎	(株) 鈴木工務店	代表取締役
桜田 光雄	沼津市	市長	鈴木 敏之	(学) 鈴木学園	理事長
佐々木 勉	南部化成 (株)	代表取締役	鈴木 昭司	(株) 箱根西醫振興事業団	代表取締役
佐藤 喜四郎	佐藤新聞店	社長	鈴木 善之助	近鉄物流 (株)	取締役会長
佐藤 隆是	佐政水産 (株)	代表取締役	鈴木 宏明	(株) 鈴木新聞店	副社長
佐藤 英之助	(株) 和多仁	代表取締役社長	鈴木 光一	マルスン (株)	代表取締役
佐藤 徳太郎	(株) 佐藤建設	代表取締役	鈴木 幸男	質茂医師会	会長
佐藤 キクヨ	協立電気商会 (株)	代表取締役	鈴木 清見	富士市	市長
佐藤 通	熱海市医師会	会長	鈴木 謙一郎	伊東市	市長
佐藤 一雄	伊東自動車学校	社長	鈴木 敏博	静岡県富士農林事務所	所長
佐野 正幸	(有) 佐野新聞店	代表取締役	諏訪部 照久	(株) スワヘ商会	代表取締役社長
佐野 治郎	大興製紙 (株)	取締役社長	清 希治	富士精造 (株)	代表取締役
佐野 隆一	静岡県東部商工労務事務所	所長	関 悟	(有) 下田電化設備工業	代表取締役
沢田 敏	岡三ゴルフ	代表取締役	関本 文彦	東海金属工業 (株)	取締役社長
塩崎 孝太郎	(株) フジブラ精工	代表取締役	関本 武道	静岡県下田財務事務所	所長
塩谷 敦子	(株) ニューフジヤホテル	取締役社長	芹澤 伸行	函南町	町長
塩谷 吉昭	中伊豆町	町長	曾我 公一	日本ペーレー (株)	代表取締役社長
重松 文男	静岡県熱海県行政センター	所長	高木 一三	高木産業 (株)	代表取締役
志田 正和	(株) 志田紙工	代表取締役	高木 眞一	(株) 石舟庵	代表取締役

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
高草 貴	(有) 高草電工	代表取締役	土屋 ふく子	土屋学園家政専門学校	校長
高島 博行	和興産業(株)	代表取締役	坪内 宏明	N T T 沼津営業支店	支店長
高田 菊平	ニューデルタ工業(株)	取締役社長	外木 隆治	日華産業(株)	代表取締役
高田 正光	(株) 光栄印刷	代表取締役	富田 森廣	(株) オートミ	代表取締役
高田 利江	(有) 吉原自動車学校	取締役	鳥井 明典	弁護士	
高田 英昭	鹿島建設(株) 静岡営業所	所長	中川 種智	(株) 下田大和館	代表取締役
高橋 郁子	草月流講師		長倉 順太郎	(株) 長倉製作所	取締役会長
高橋 一彌	司法書士		永倉 芳郎	沼津通運倉庫(株)	取締役社長
高橋 享	静岡県沼津土木事務所	所長	中里 定助	富士ロビン(株)	取締役社長
高橋 宏光	静岡県熱海財務事務所	所長	中嶋 英一	(有) 京風科学館 正平荘	代表取締役社長
高村 実	(株) 高村	代表取締役社長	中島 麗子	中島水産(株)	代表取締役
瀧口 一彦	大二製紙(株)	代表取締役	中島 孝	静岡県下田土木事務所	所長
竹内 幸夫	東伊豆町商工会	会長	長島 国雄	御殿場日本電気(株)	常務取締役
田代 昇司	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長	長島 博司	戸田村	村長
田代 治寿	(株) 田代新聞センター	代表取締役社長	中野 直樹	(有) 中野新聞社	副社長
多田 舜一	(株) 東静ビル・エンタープライズ	代表取締役社長	中野 省吾	大昭和製紙(株)	代表取締役社長
電野 輝夫	(株) 東日	代表取締役	中野 雄一郎	静岡県熱海土木事務所	所長
立岩 博明	立岩石材興業(株)	代表取締役	長野 享史	静岡県富士財務事務所	所長
田中 賢一	(株) 清流荘	代表取締役	長橋 克巳	(株) 静岡新聞社	常任相談役
田邊 まなみ	新日本作法会	教授	中村 昭和	(株) なか長	代表取締役社長
田畑 真助	(株) 田畑新聞店	専務	中山 博之	飯工業(株)	代表取締役
田端 英文	静岡県東部農林事務所	所長	部須 洋一	明治生命保険(相) 沼津支社	支社長
田村 直丈	田村総業(株)	代表取締役	名取 榮三郎	沼津信用金庫	会長
田村 明裕	明治製紙(株)	代表取締役社長	西島 洋司	西島脳神経外科病院	院長
千葉 俊隆	(株) ホテル水葉亭	代表取締役社長	西島 昭男	(株) シード	代表取締役社長
土屋 昭司	土屋建設(株)	代表取締役	西島 正行	西島冷蔵倉庫(株)	代表取締役
土屋 詔二	日本エム・アイ・シー(株)	代表取締役社長	西原 宏夫	(株) にしはらグループ	代表取締役
土屋 誠司	(株) 富士和ボーリング	取締役会長	二宮 健治	青木建設(株)	代表取締役
土屋 賢一	東海建設(株)	代表取締役	野田 一	東海食糧(株)	代表取締役
土屋 磯雄	ホテルいそかぜ	代表取締役	野田 靖明	(株) 静岡銀行	取締役沼津支店長
土屋 和典	税理士		野々村 知久	(株) 西武百貨店沼津店	店長
土屋 茂	小林電気工業(株)	代表取締役専務	野村 玲三	(株) 野村商店	代表取締役社長
土屋 紀雄	(株) 土屋建設	代表取締役社長	野本 二士夫	(株) コーリキ	会長
土屋 文夫	伊豆太陽農協	代表理事組合長	萩原 静男	(有) 熱川第一ホテル	代表取締役
土屋 幹夫	(株) 幹洋堂土屋新聞店	代表取締役社長	橋本 信桂	(学) 城内学園	理事長
土屋 良明	(株) 土屋造園	代表取締役	橋本 勤	橋本興産(株)	代表取締役



# サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	名前	会社名	役職
橋本 正夫	弁護士		松田 博敏	日産火災海上保険(株) 沼津支社	支社長
長谷川 浩之	(株) エッチ・ケー・エス	代表取締役社長	松永 淳	(株) 静岡新聞社	取締役総務局長
長谷川 徳之輔	明海大学不動産学部	教授	松本 眞明	静岡県沼津工業技術センター	所長
島山 潤一	(株) 島山製作所	取締役社長	真野 芳雄	ニッキ工業(株)	代表取締役会長
波多野 浩之	東海士建(株)	代表取締役	関野 茂木	(株) ホテル三四郎	代表取締役
服部 重之	静岡県伊豆農林事務所	所長	眞野 基夫	沼津第一青果(株)	代表取締役
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役社長	水口 喬	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
原 修一	沼津セナセ(株)	代表取締役	三田 仁	特種製紙(株)	代表取締役社長
原 啓太郎	修善寺町	町長	峰田 武	三島商工会議所	会頭
原口 昌雄	ハトヤホテル	社長	宮城島 安宏	(株) 静岡新聞社	取締役営業局長
一杉 真城	ヒトスギ塾	塾長	宮崎 保	(株) 東海情報	代表取締役
平井 弥一郎	清水町	町長	宮田 博夫	静岡放送(株)	取締役情報システム局長
平瀬 貴人	トヨタオート静岡(株)	代表取締役社長	宮地 淳夫	建設省沼津工事事務所	所長
深瀬 和彦	(株) 大成	代表取締役	三輪 俊城	(有) ホテル沼津キャッスル	専務取締役
深澤 渉	静岡放送(株)	専務取締役	村上 武	東京電力(株) 沼津支店	支店長
福田 達郎	静岡放送(株)	取締役報道制作局長	村上 誠治	(株) いづみ荘	代表取締役
富士 貞彦	(株) ひのや	代表取締役	室伏 勝宏	(株) みしまプラザホテル	代表取締役社長
藤江 敏男	(株) 高松電機	代表取締役	室伏 正文	(有) 丸東工業所	代表取締役
古屋 憲男	(株) ミロク	代表取締役社長	室伏 進	フジ産業(株)	代表取締役
古谷 青海	(株) 蓬莱旅館	代表取締役	目次 忠志	日本生命保険(有) 沼津支社	支社長
保坂 昭	(株) 保坂組	代表取締役	望月 保身	弁護士	
星野 茂	(有) 星野新聞堂	代表取締役	望月 二郎	J A 静岡共済連東部支所	支所長
堀池 眞臣	日本テレコム(株) 沼津営業所	所長	望月 良和	大仁町	町長
堀内 光一郎	富士急行(株)	取締役社長	森 延敏	原町商工会	会長
前島 重雄	(有) 前島商店	代表取締役	森 千聖	ジャスコ(株)	取締役社長
前田 輝夫	(株) エーティー・エンジニアリング	取締役社長	八木 康行	静岡放送(株)	取締役編成局長
牧田 三良	(株) 田子の月	専務取締役	安田 昌代	安田家	代表取締役専務
真喜屋 大実	(株) 熱海後楽園	取締役社長	矢田 利雄	沼津米穀卸(株)	代表取締役
増田 泰一	沼津魚仲買商協同組合	理事長	矢田部 正日	三島大社	宮司
間瀬 悦基	(株) 間瀬	会長	八巻 清文	中林建設(株)	代表取締役社長
松井 文義	N T T 東海移動通信網(株) 沼津支店	支店長	矢部 利治	(株) マキヤ	代表取締役
松井 大英	了仙寺	住職	山内 一芳	カネシメ山芳水産(株)	代表取締役社長
松井 純	静岡放送(株)	取締役社長	山形 晋一	アンゼンフーズ(株)	代表取締役
松浦 正美	長沢郵便局	局長	山岸 武正	(株) ヤスキ	代表取締役社長
松金 健一	静岡コンサルタント(株)	代表取締役社長	山口 憲祐	東海シティーサービス(株)	代表取締役社長
松崎 博	(株) オキシテック	代表取締役	山口 雄一	日本火災海上保険(株) 沼津支社	支社長

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
山崎 進	(有)山崎木工所	代表	平成8年度入会		
山下 勲	安田火災海上保険(株)東静岡支店	支店長			
山下 正一郎	伊豆信用金庫	理事長	芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長
山田 よし子	三菱荘	総支配人	岩井 邦夫	ジャスコ(株)	東海事業本部長
山田 勇次郎	富士市農協	代表理事組合長	大石 滋	(株)静岡新聞社	取締役社長室長
山田 善久	熱海商工会議所	会頭	戸栗 太平	(株)エビス印刷	代表取締役社長
山田 恒夫	伊東商工会議所	会頭	原田 誠治	(株)静岡新聞社	取締役編集局長
山中 崇弘	(株)静岡新聞社	常務取締役	増田 秀次	(株)関東精工	代表取締役会長
山本 豊一	公認会計士		山口 左右平	(有)土肥観光ホテル 湯の花亭	代表取締役社長
山本 博信	大信水産(株)	代表取締役	山田 宏	ホテルラヴィエ川島	取締役副社長
山本 良一	山本建設(株)	取締役社長	渡邊 定弘	(財)静岡総合研究機構	専務理事
山本 博	田子山本新聞店	社長	会員の交代		
山本 英一	(株)東平商會	代表取締役			
山本 安彦	山本被服(株)	代表取締役会長	伊藤 実	静岡県東部県行政センター	所長
山本 平八郎	富士信用金庫	理事長	内田 一仁	農事組合法人 堂ヶ島洋らんセンター	代表理事園長
山本 淑子	(株)伊東大和館	常務取締役	萩島 利昭	東海食糧(株)	取締役管理部長
山本 勲也	西伊豆町	町長	奥田 雅春	静岡県伊豆県行政センター	所長
山本 正和	賀茂村	村長	奥山 昭之	第一生命保険(相)沼津支社	支社長
吉田 庄司	東海大学開発工学部	学部長	藤又 不二男	静岡県熱海財務事務所	所長
米山 寛	(株)万城食品	代表取締役	川島 弘樹	静岡県沼津財務事務所	所長
和田 晃昌	(株)ヤオハンジャパン	代表取締役社長	窪田 一郎	西伊豆町	町長
渡辺 定雄	天城湯ヶ島町商工会	会長	白鳥 雄一	静岡県下田土木事務所	所長
渡辺 康彦	渡辺規矩太郎商店(株)	専務取締役	進士 昌明	東海大学開発工学部	学部長
渡辺 正彦	積水ハウス(株)沼津支店	支店長	菅原 健郎	安田火災海上保険(株)沼津支社	支店長
渡辺 幸一郎	(株)三島新聞堂	代表取締役社長	芹澤 広史	静岡県富士土木事務所	所長
渡邊 庄次	(株)ミツヤ	代表取締役	高橋 宏光	静岡県富士財務事務所	所長
渡邊 嘉子	医療法人社団漢寿美会 渡辺医院	理事長	多々良 元	静岡県富士県行政センター	所長
渡邊 寛美	渡辺写真館	店主	橋本 龍美	明治生命保険(相)沼津支社	支社長
渡邊 雄二	渡辺建設(株)	取締役社長	橋本 和彦	橋本興産(株)	代表取締役
渡辺 偉	(有)渡辺園芸	代表取締役	藤江 郁雄	(株)高松電機	専務取締役
渡辺 信良	(株)魚膳	専務取締役	藤田 協右	静岡県沼津土木事務所	所長
渡辺 弘	三盛自動車販売(株)	代表取締役	武藤 照治	静岡県富士農林事務所	所長
渡辺 紀	富士宮市	市長	森 千之	東海シティーサービス(株)	代表取締役社長
渡辺 文三	蓋山町	町長			



 **サンフロント21**  
懇話会

■発行 平成8年5月17日  
〒410 沼津市魚町1番地サンフロント5F  
静岡新聞社・SBS静岡放送東部総局内  
事務局 TEL 0559-62-6520